

注意!!

○機械除草はダメ!!

・刈り払い機での除草は、裁断された茎葉の飛散により、多数の個体を再生させる恐れがあるので避けてください。(手間がかかっても、根までの「抜き取り」が基本です。)

○集落営農等、農機を共同利用する場合は要注意!

・発生ほ場での収穫や耕起の作業は、発生していないほ場での作業を終えてから、いちばん最後に実施してください。

※茎や葉の切れ端から旺盛に再生(栄養繁殖)することに加え、多数の種子を含んだ実も水に浮き、水に流されて各地へと拡散します。

※茎の成長する速度は、ナガエツルノゲイトウよりも速く、水面に沿って急速に茎や葉を成長させます。

※鳥が種子を食べ、その糞から種子が発芽することも確認されています。



給水機周辺に繁茂



水路侵入

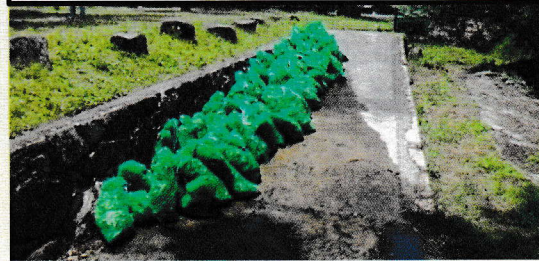
防除方法

○手取り除草・泥上げ作業

根も茎葉と一緒に駆除



メッシュ袋に入れるか、シートを敷くなどして、地面と遮断して枯死



※畦畔での除草を安易に行い、この植物を裁断、放置すると拡散する恐れがあります。

※除去した植物体や植物片が混入した泥を地面に放置すると、そこで根を下ろしてしまいます。

○薬剤防除(散布前に農薬登録およびラベル等を確認願います)

【畦畔】 非選択性除草剤の使用により、地上部は枯れます。しかし、地下部は生き残ることが多く、その場合、1~2か月程度で再生します。再生が見つかれば再度防除する必要があります。これを生育期間中に繰り返して行い、徐々にほ場から排除していきます。

【本田】 本田内に侵入した場合、効果の高い除草剤は確認されていないので、できるだけ畦畔からの侵入を防いでください。

○遮光シートによる被覆

・除草剤を用いない場合は、遮光率100%程度の遮光シートにより長期間(1.5~2年程度)被覆することでも、防除することができます。